

# HAKOBUNE

放射されるアート

そこは事件の起こるべき構図の中といったものが欠けている場所、次の日もこの場所は飽きもせずに反復されているに違いない。風景のカラッポ、オディブスの悲しい目、主体の不在、入り口の扉に塗られたペンキは乾燥した皮膚のように浮き上がり、剥がれているのだ。深く打ち込まれたポルトもだらしなく露呈し、ポロポロに崩れている。剥がれたコンクリートから現れる内部の骨組は、ゆっくりと時間をかけて腐食され、茶褐色に錆び付き、風化の一途を辿っている。海水は上ってきた。過ぎていくものを思い出す。壊れたボートが中ば地上に溺れ、泥の中に埋もれている。放置されたエアコンの残骸、ゴミや汚物の山、泥のある箇所が散在する。いかに泥は柔らかくあり、同時に乾いているのか、干されているのか、褐色、黄、黒、灰色、黒ずんだ色をしている。その匂いが求めているものは、或いは草か。いまそれに触れ、手にとった指の間で湿ってくっ付き、捉えどころのなかったこれら何本かの草。上部が斜めに撃ち込まれた杭は、やや傾き、割れて縦にヒビが入り、白っぽくなっている。所々に頭の欠けた茶色の錆びた釘は、そこに残っていた、何か他のもの、名づけられない他のもの、もはや何か分からないものの一部であったのか。唯一確かなことはこの場所は、光によって放射されている。微細に交感するものただやかに晒されている。反復されている。

わたしは光のなかで、構築物の前に立ち、ある一文を想起する。「ムクドリは数千羽、数万羽という群れを作って大空を群舞する。その動きは自由自在に離合集散を繰り返しつつ、一糸乱れぬフォーメーションで、ある秩序を保ちながら（…）群れ全体として一つの集合的な意識をもった生命体のような動きである。まさに「シンクロニティ」である」（シンクロニティ ポール・ハルパーン著『シンクロニティ 科学と非科学の間に』に寄せられた福岡伸一（生物学者）の推薦文より）。わたしの目はもとめる。生あるものだけでなく、現在ここに存在するものがいかに交感しているのか。空を飛翔する数千羽の翼のように、そこでシンクロは起きているのか。わたしは風景に、光に、思考に、交感に晒されている。

風は無かった……

色彩は確かに与えられていた。防波堤の壁に描かれた落書きにも、風に吹き寄せられた色の褪せた紙切れにも、正確には判別の難しいビニール製品、ペンキの付着した木片、形を失ったプラスチック、打ち寄せる波の中にも、ガラスの破片がゆっくりと旋回し、光輝を放しながら流れていた。それらは至る所で確実に死の薫りを噴射し、分裂と生成を絶えず起こしながら化粧している。

倉重光則

2023年6月3日(土)-7月9日(日)

土日のみ開場 11:00 - 18:00

■パフォーマンス 6月3日(土) 15:00~

「いわば」ホワイトダイス (相良ゆみ・万城目純)  
音 (増田直行)

■朗読 6月3日(土) 16:30~

「HAKOBUNE 企画」 R.D. レイン「好き好き大好き」を読む  
読み手：渡辺 梓 (女優・似て非 works)

1987年 仲代達矢主宰「無名塾」に11期生として入塾 (2020年まで在籍)  
平成元年 NHK 朝ドラ「和っこの金メダル」ヒロインでデビュー

■パフォーマンス 6月4日(日) 15:00~

山田有浩

■星のオルゴール

大河内俊則

昼間、星は明るい太陽の光に隠れて見えないのだと、小さな頃から“知識”としては知っていましたが、ある時から、星は太陽の光に隠れて光っているのだという“意識”へと変化しました。仕組みは、星の座標や明るさなどをリストにした星表というものが、それを基に少し計算すると、いつ子午線を通過するのかがわかります。子午線というのは空の南北を結んだ線のことです。そして子午線を通過するときの星の高さを音の高さに、星の明るさを音の大きさへと、できるだけ手心を加えないように直線的に変換を行い、地平線から北極星までの緯度の星の通過を、地方恒星時によって発音するものです。したがって、望遠鏡や、何かの測定機器で、通過する星を検出しているわけではありません。

本展覧会の会期後、「HAKOBUNE」の記録集冊子を制作

執筆予定：菊井崇史・宮田徹也・森田一

HAKOBUNE 事務局

勝又 090-4670-1194・倉重 090-1432-6227・山岡 090-5691-6494

[アクセス] 諸磯青少年センター

三浦市三崎町諸磯 1870-1

■バスの乗り方

三崎口駅改札を出て2番乗り場から浜諸磯行きに乗り、終点で下車

料金 370円 バス所要時間 22分

三崎口駅から浜諸磯行き (行き)

平日 9:23 10:43 12:15 14:10 18:12 19:14

土曜日 9:23 10:43 12:21 14:10 18:12 19:10

日曜日 8:43 9:42 10:43 12:21 14:10 18:12 19:10

浜諸磯から三崎口駅行き (帰り)

平日 7:47 10:15 11:43 13:40 17:25 18:40

土曜日 10:15 11:43 13:40 17:25 18:40

日曜日 8:15 9:10 10:15 11:43 13:40 17:25 18:40

■その他の方法

三崎口駅から2番乗り場のバス、どのバスでも可 頻繁に発車

天神町下車、バス所要時間 11分 料金 250円 天神町バス停から

徒歩 25分、帰日も天神町で乗車

■初日 6月3日(土) 17:00~21:00

天神町バス停まで送る車を用意しています

■車で来られる方 駐車料金 1,000円

